

令和 8 年度せんだい市民カレッジ防災・減災講座（第 3 回）で災害医療について講演しました（2026/9/12）

テーマ：災害医療の基礎知識 -DMAT ってなんですか？-

場 所：仙台市生涯学習支援センター（宮城県仙台市）

URL：<https://www.sendai-shimincenter.jp/syogaigakusyu/kouza/p1119.html>
（仙台市市民センターHP）

2026 年 9 月 12 日（土）、宮城県仙台市の仙台市生涯学習支援センターで令和 8 年度せんだい市民カレッジ防災・減災講座が開催され、佐々木宏之准教授（災害医療国際協力学分野）が「災害医療の基礎知識 -DMAT ってなんですか？-」のタイトルで災害医療について講演しました。

せんだい市民カレッジ防災・減災講座は、平時そして災害時に地域の災害対応の中心的役割を果たす仙台市地域防災リーダー（Sendaishi chieki Bousai Leader: SBL）メンバーが企画員となって運営している一般市民向けの講座です。令和 8 年度は 8 月 22 日（土）から 5 回シリーズの講座がはじまり、第 2 回 8 月 29 日（土）には津波工学研究分野の今村文彦教授（本学副学長）が講師として登壇しました。

当日は会場に災害に関心を持つ市民 47 名が集まりました。佐々木准教授は消化器外科から災害医療にキャリアを移した経緯の自己紹介に続き、災害医療と救急医療の違い、日本の災害医療の変遷、令和 6 年能登半島地震や令和 8 年熊本地震での実働、極端気象下での健康課題などについて、約 100 分の講演を行いました。企画した SBL メンバーや市民からは「名前しか聞いたことのない DMAT の実際の活動がよくわかった」「避難所での健康対策はごく初期のレイアウト設定が鍵になるとよく分かった」「日本の災害保健医療福祉体制が災害を経るごとにアップデートしてきたのがよく分かった」といった感想が寄せられました。



講座チラシ



会場の様子



災害医療について身振りを交えて解説する佐々木准教授

文責：佐々木宏之（災害医療国際協力学分野）